

# ナブテスコ株式会社

## 2022年12月期第2四半期 決算説明会資料

2022年8月8日  
代表取締役社長 CEO  
木村 和正

1. 2022年12月期 上期実績

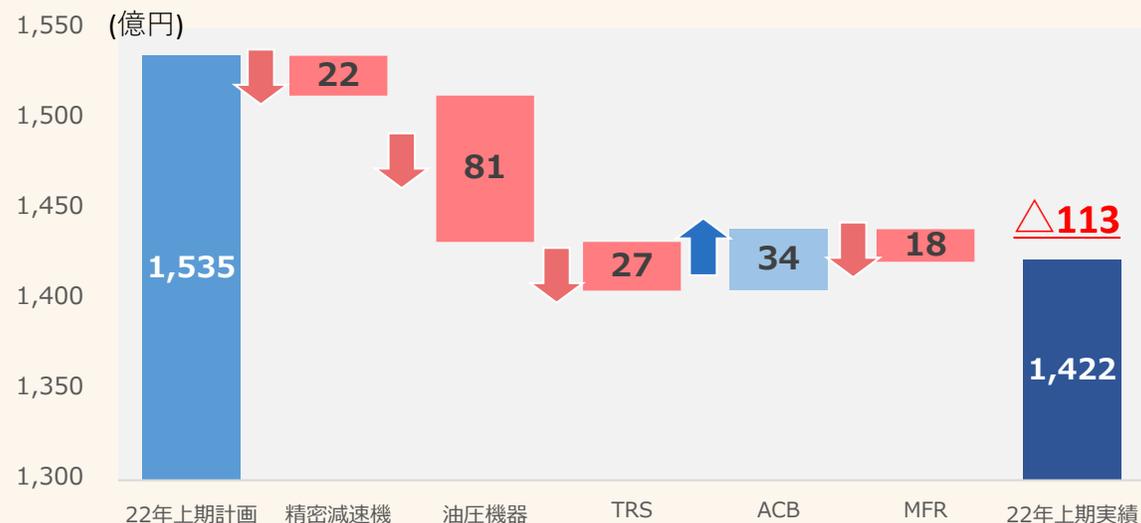
2. 2022年12月期 下期見通し

3. 2022年12月期 通期見通し

4. トピックス

# 1. 2022年12月期 上期実績

## 売上高比較



### 【増収】

ACB：海外でプラットフォームドアの売上増加

### 【減収】

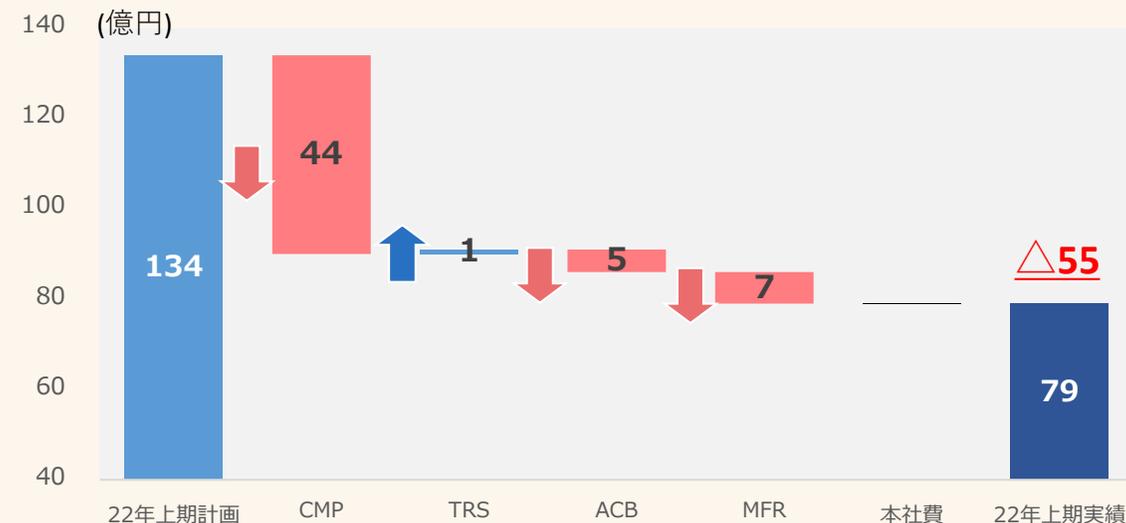
精密減速機：日本工場でのコロナ感染拡大による生産量の減少や中国での上海ロックダウンによる物流混乱による生産遅延

油圧機器：中国油圧ショベルの期首想定を超える需要減少と上海市ロックダウンによる当社工場の操業一時停止による生産量減少

TRS：顧客や当社での電子部品不足による生産遅延

MFR：包装機で電子部品不足による生産、出荷の遅延

## 営業利益比較



### 【増益】

TRS：MROの増加と経費節減により増益

### 【減益】

精密減速機：日本工場でのコロナ感染拡大、上海ロックダウンによる物流混乱に伴う生産量の減少による減益

油圧機器：需要減少による減益に加え、中国工場の操業一時停止による生産量の減少による減益

MFR：包装機で電子部品不足による生産、出荷の遅延による減益

- 上海工場の一時生産停止や部品不足による売上減少に加え、原材料費等の高騰により、営業利益が減少
- 金融損益の減少は、HDS\*<sup>1</sup>株式の時価評価による（21年4Q末：4,860円/株→22年2Q末：3,995円/株）

(単位：億円)

	2021/12 上期実績 (A)	2022/12 期首計画 2022年2月10日 (B)	2022/12 上期実績 (C)
売上高	1,457	1,535	1,422
営業利益	146	134	79
(営業利益率)	10.0%	8.7%	5.5%
金融損益	926	1	-147
(うちHDS評価損益)	938	-	-166
持分法投資利益	12	9	11
税引前利益	1,085	144	-57
当期利益* <sup>2</sup>	681	77	-51
一株当たり当期利益	556.45円	64.03円	-42.56円
中間配当	38円	39円(予)	39円

前期同期比 増減額 (C-A)	計画比 増減額 (C-B)
-35	-113
-67	-55
-4.5pt	-3.2pt
-1,073	-148
-1,104	-
-1	2
-1,141	-201
-732	-128

\*<sup>1</sup> HDS:株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ社

\*<sup>2</sup> 当期利益:親会社の所有者に帰属する当期利益

- 「売却目的で保有する資産」及び「非流動資産のその他の金融資産」の減少は、主にHDS株式評価減による
- 「未払法人税等及び長期繰延税金負債」の減少は、21年末払法人税納付（HDS\*1評価益含む）を実施したことによる

(単位：億円)	2021/12期末 2021年12月31日	2022/12 上期末 2022年6月30日	差異
<b>資産</b>	4,817	4,656	-161
（現預金等）	1,128	1,067	-61
（棚卸資産）	419	531	113
（売却目的で保有する資産）	445	362	-83
（有形固定資産及び使用権資産）	979	1,020	41
（非流動資産のその他の金融資産）	538	461	-77
<b>負債</b>	2,267	2,123	-144
（未払法人税等及び長期繰延税金負債）	337	118	-220
<b>資本</b>	2,550	2,533	-17
（非支配持分）	151	143	-8
<b>親会社所有者帰属持分</b>	2,399	2,390	-9

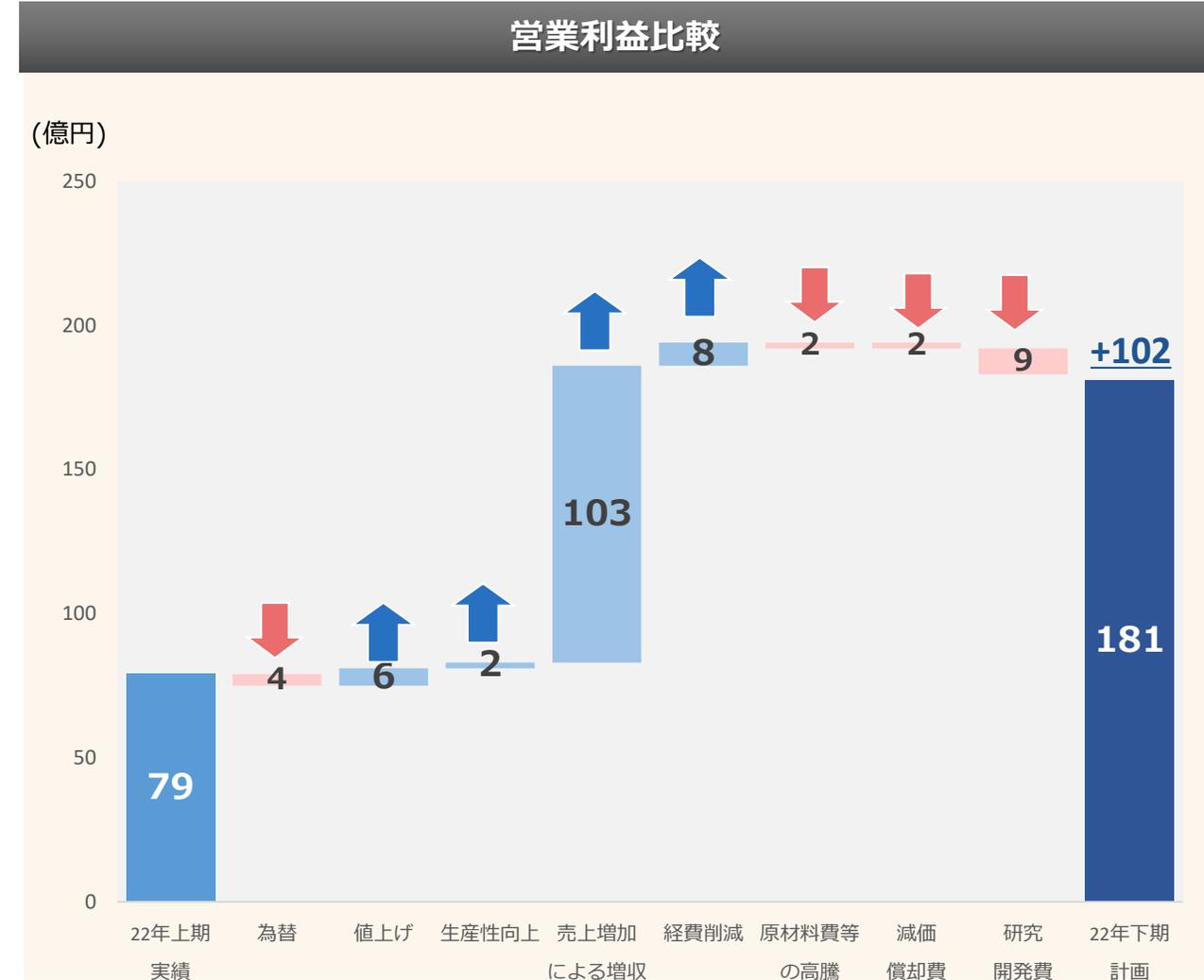
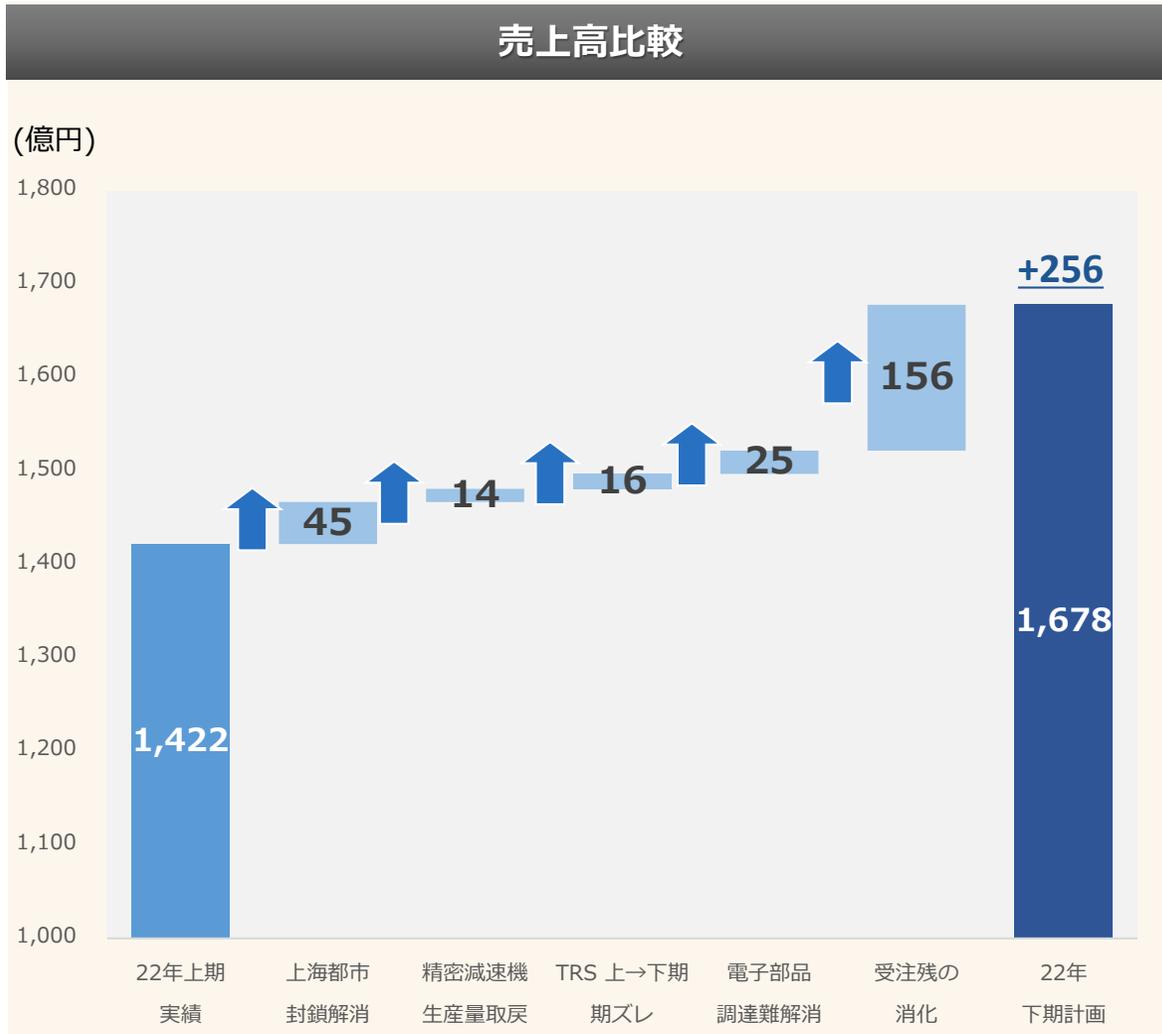
親会社所有者帰属持分比率： 49.8% 51.3%

\*1 HDS:株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ社

## 2. 2022年12月期 下期見通し

	需要環境	受注推移 21上/21下/22上	受注残高 対21年下期比	売上推移 21上/21下/22上/22下	下期計画達成に向けたアクション
精密減速機	<ul style="list-style-type: none"> <li>EV生産ライン新設への高いロボット需要が継続</li> <li>バッテリー製造ライン自動化需要拡大</li> <li>半導体製造装置、工作機械向け好調</li> </ul>		 +42%		<b>【売上増加】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆高い需要に応えるフル生産対応（減速機）               <ul style="list-style-type: none"> <li>- サプライチェーン、人員獲得に目途</li> </ul> </li> </ul>
油圧機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>22上中国油圧ショベル需要低迷 前年同期比△36%（当初想定△20%）</li> <li>欧米、東南アジア向けは想定通り好調維持</li> </ul>		 △2%		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆電子部品確保（TRS/ACB/MFR）               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 新規サプライヤ開拓</li> <li>- 代替設計推進</li> </ul> </li> </ul>
TRS	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道：MRO好調</li> <li>航空：小型機需要が回復</li> <li>船用：新規建造隻数が増加</li> <li>商用車：東南アジア市場向けに需要増加</li> </ul>		 +11%		<b>【利益拡大】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆売上計画の達成（全社）</li> <li>◆MRO値上げの拡大（TRS）</li> </ul>
ACB	<ul style="list-style-type: none"> <li>23年、24年首都圏再開発に向けた建物用自動ドアの引合い増加</li> <li>国内外でプラットフォームドア需要が好調</li> </ul>		 +20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆原材料・外注費の削減               <ul style="list-style-type: none"> <li>- ベアリングの内製化推進</li> <li>- 新規サプライヤ開拓</li> </ul> </li> <li>◆原材料費高騰を製品価格へ転嫁（全社）</li> </ul>
MFR	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働力不足による自動化ニーズの増加</li> <li>個食包装需要の拡大</li> </ul>		 +35%		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆繁忙事業への人員再配置               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 航空機器、油圧機器工場から減速機工場へ</li> </ul> </li> <li>◆広告宣伝費の削減（本社）</li> </ul>

■ 上期に発生した生産・物流等の遅延要因の解消により、下期は高水準の受注残を確実に消化し売上/利益計画を達成する



## 売上高比較



### 【増収】

**精密減速機**：産業用ロボット、工作機械、半導体製造装置、EV用バッテリー製造装置向けが引き続き高い需要となり増収を見込む

**油圧機器**：上海市都市封鎖での生産遅れの取り戻し、23年春節需要により増収を見込む

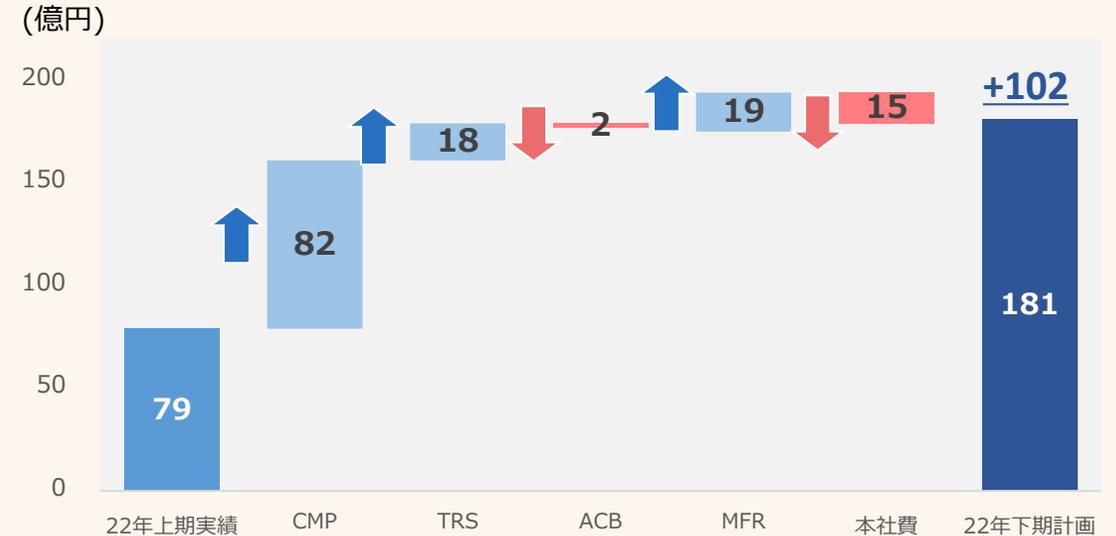
**TRS**：電子部品調達難への対処、上海都市封鎖での生産遅れの取り戻し、旅客需要の回復により増収を見込む

**MFR**：包装機で電子部品調達問題への対策推進により、増収を見込む

### 【減収】

**ACB**：上期に前倒し分があり、通期では期首計画並み

## 営業利益比較



### 【増益】

**CMP**：左記の増収効果に加え、調達コストUPの価格転嫁を推進することにより増益を見込む

**TRS**：左記の需要拡大に加え、MRO売上増加による増益を見込む

**MFR**：左記の増収による増益を見込む

### 【減益】

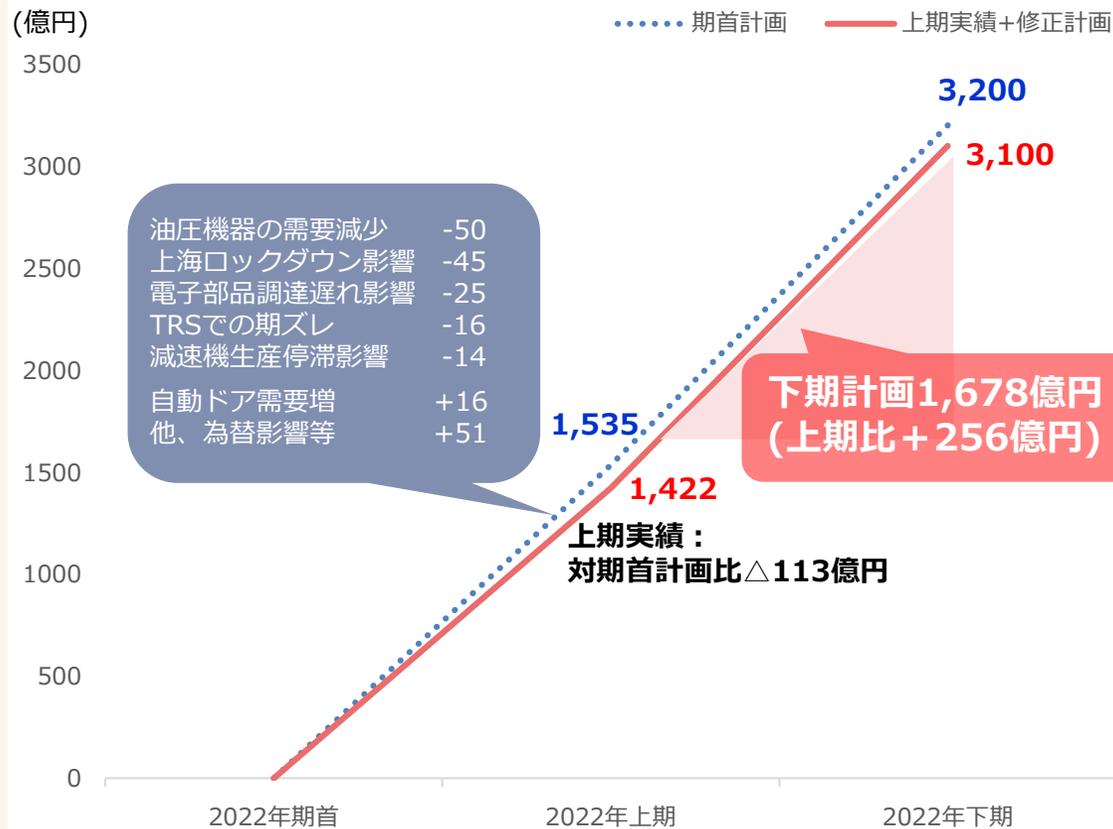
**ACB**：売上減少に伴い減益予想であるが、減益幅は限定的

**本社**：イノベーション創出に向けた研究開発は計画通り実施

### 3. 2022年12月期 通期見通し

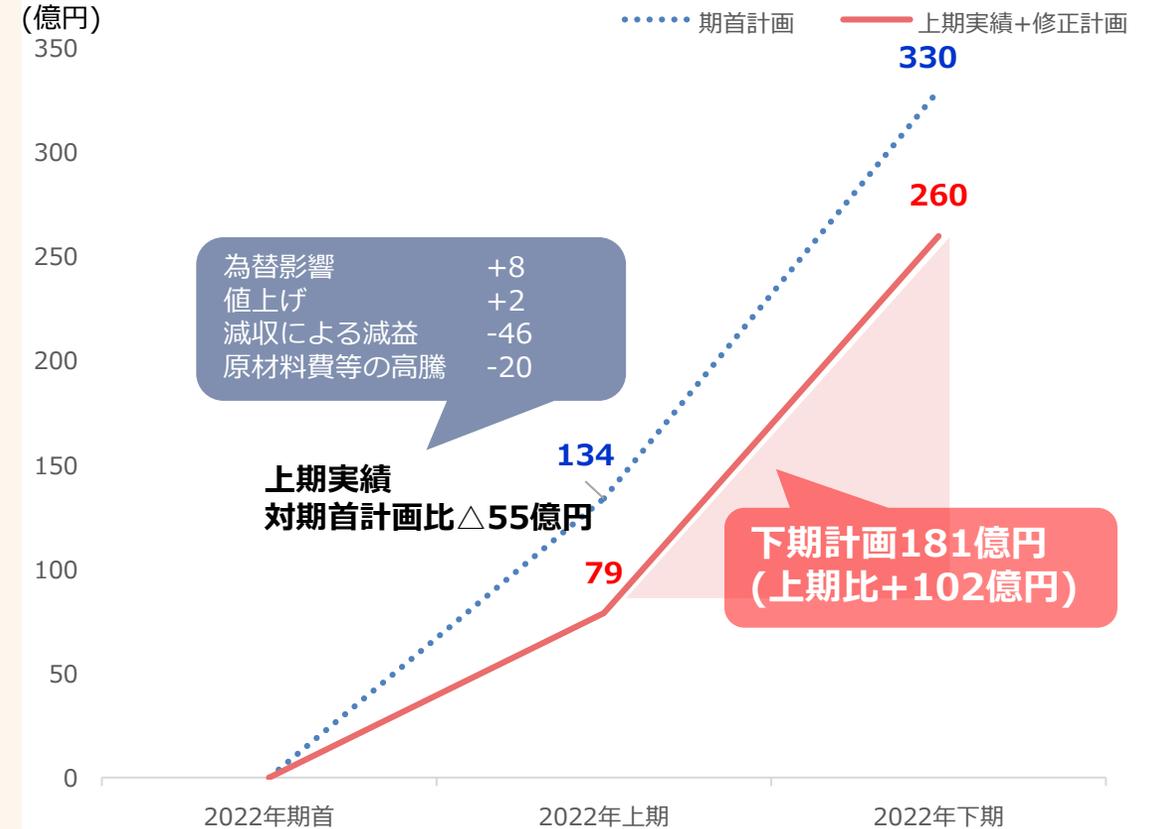
## 売上高比較

- 下期計画 : 1,678億円 (上期比+256億円)
- 通期修正計画 : 3,100億円 (期首計画比△100億円)



## 営業利益比較

- 下期計画 : 181億円 (上期比+102億円)
- 通期修正計画 : 260億円 (期首計画比△70億円)



- 保有するHDS\*<sup>1</sup>株式の半分の売却が7/11に完了。修正計画では第3四半期に49億円の金融収益計上を見込む。売却総額は494億円を計上（売却期間中のVWAP\*<sup>2</sup>：5,392円）。残り半数の保有株式（約916万株）も将来的に売却の方針。
- 修正計画でのROICは6.6%となるが、ROICツリー展開により資産効率の向上を図る。

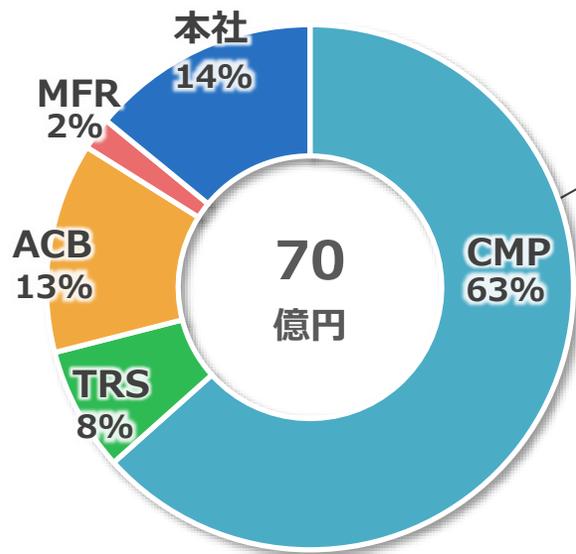
(単位：億円)	2021/12 通期実績	2022/12 期首計画 2022年2月10日	2022/12 修正計画 2022年7月29日
売上高	2,998	3,200	3,100
営業利益	300	330	260
(営業利益率)	10.0%	10.3%	8.4%
金融損益	699	1	61
(うちHDS評価損益)	707	-	49
税引前利益	1,020	350	350
当期利益* <sup>3</sup>	648	234	234
ROIC	8.1%	8.5%	6.6%
一株当たり配当金	77円	78円(予)	78円(予)
配当性向	14.4%	40.1%(予)	40.0%(予)
HDS株式評価損益の株価	4,860円/株	4,860円/株	4,860円/株

\*<sup>1</sup> HDS：株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ \*<sup>2</sup> VWAP: Volume Weighted Average Price(売買高加重平均価格) \*<sup>3</sup> 当期利益 = 親会社の所有者に帰属する当期利益

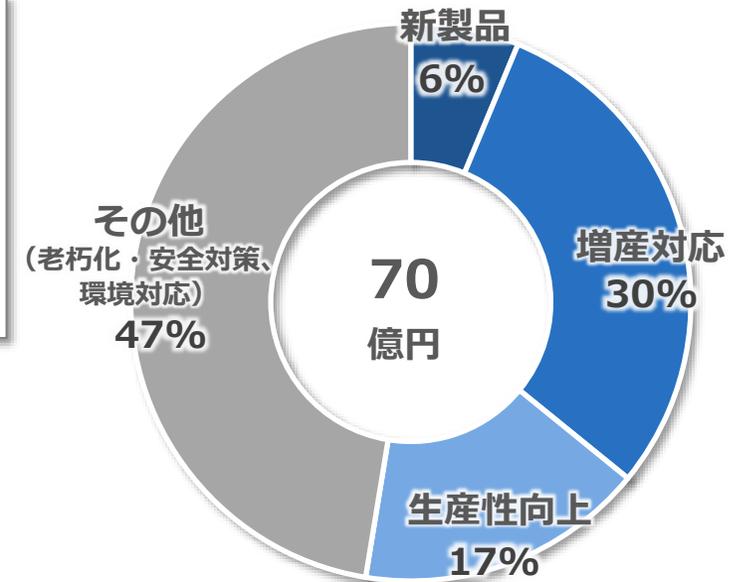
(単位：億円)	2021/12 2Q実績 (A)	2022/12 2Q実績 (B)	前年同期比 (B-A)
設備投資額	47	70	23
研究開発費	48	54	6
減価償却費	66	71	5

2021/12 通期実績	2022/12 修正計画 (C)	2022/12 期首計画 (D)	期首計画比 (C-D)
96	302	361	-59
96	123	114	9
133	141	143	-2

## 2022/12 上期実績



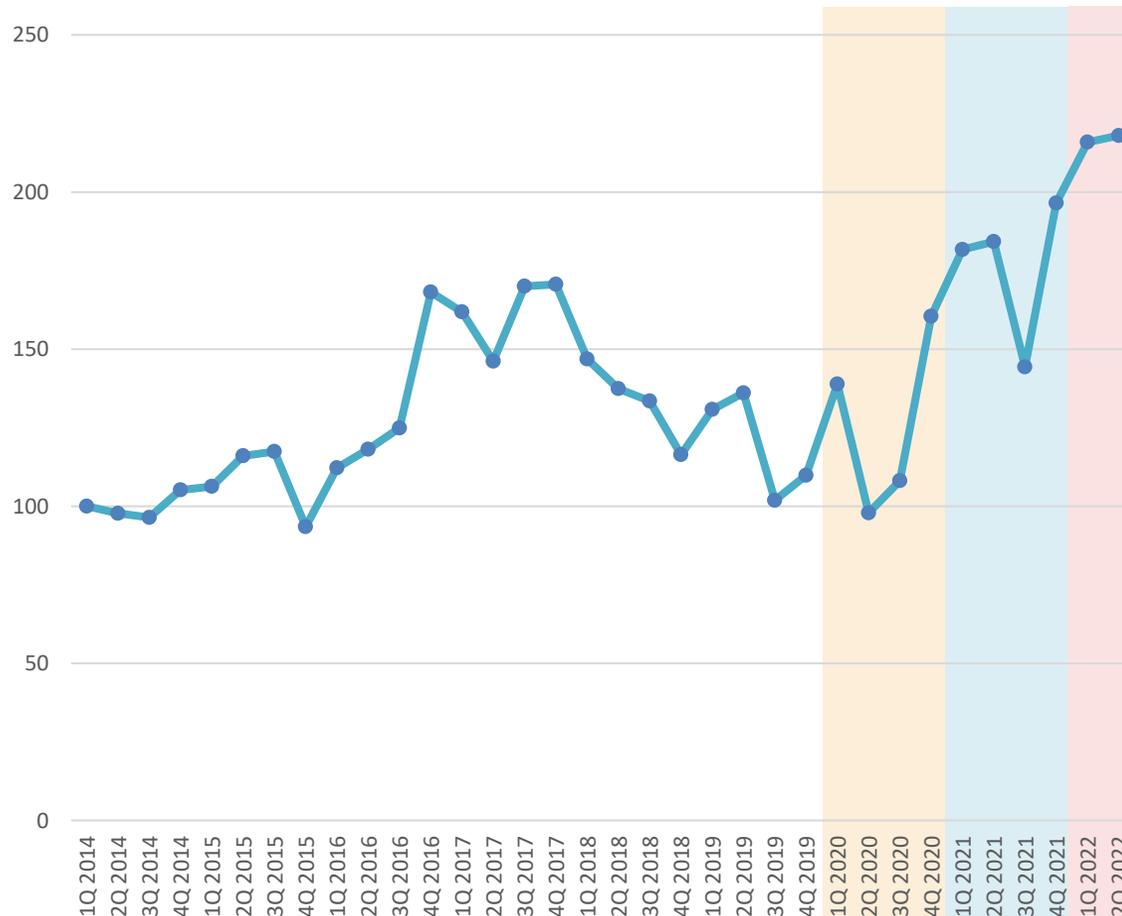
- 精密減速機  
-能力増強、生産性向上、  
環境投資（津工場・浜松工場）
- 油圧機器  
-老朽化更新、生産性向上  
（垂井工場）



## 4. トピックス

## 2022/2Q 精密減速機 連結受注

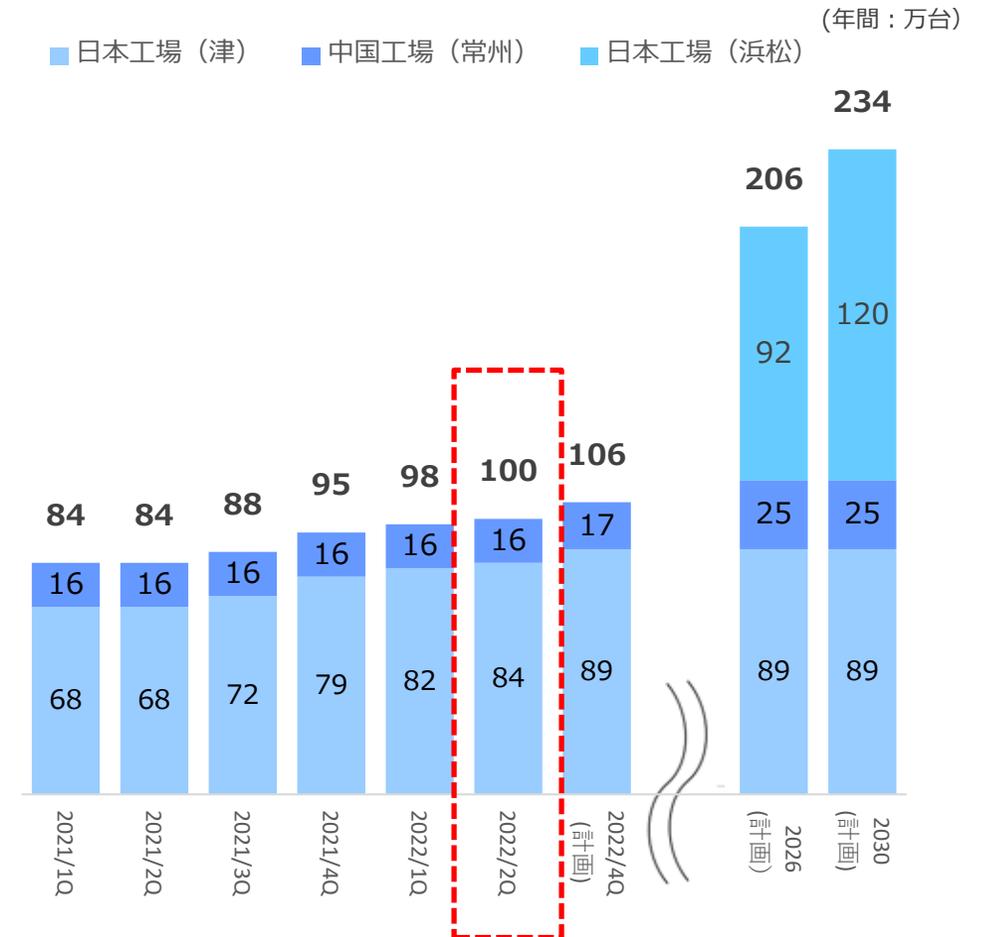
- 3四半期連続で過去最高の受注高を更新  
QoQ +1%, YoY +18%



2014年1Q=100とした時の連結受注水準

## 2022/2Q 精密減速機 定時生産能力

-2022/2Q 生産能力は年産100万台  
-2022年9月 浜松工場起工式を予定



- ・RV減速機 92万台／2026年 120万台／2030年を生産するスマート生産工場
- ・太陽光発電による創エネルギーなど、SDGs 10項目に取り組む(RE100達成へ)



グリーンと調和した解放感ある  
3階建て事務所棟



RVをモチーフとした  
木造の守衛所

項目	津工場	浜松工場
敷地面積	111,978 m <sup>2</sup>	181,700 m <sup>2</sup>
RV生産能力	89万台／年	120万台／2030年

# Appendix

## ■ 為替レート

	2021/12 上期実績	2021/12 通期実績	2022/12 上期実績	2022/12 通期期首計画	2022/12 通期修正計画
USD	108.45	110.37	124.52	110.00	120.00
RMB	16.76	17.12	19.12	17.00	18.50
EUR	130.46	130.34	135.16	125.00	130.00
CHF	119.02	120.71	131.83	120.00	125.00

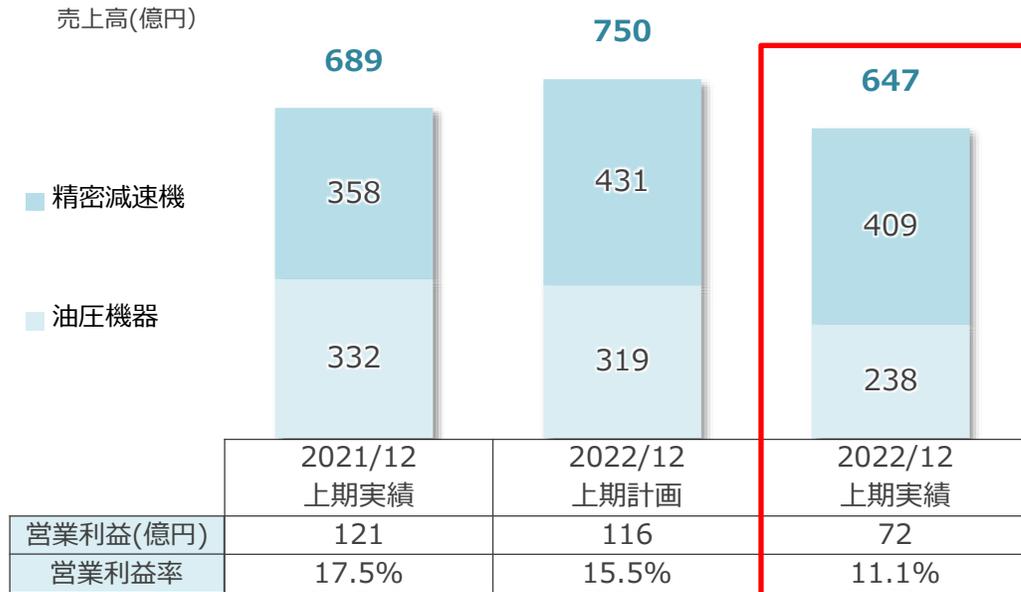
## ■ 為替感応度（為替が1円変動したときの影響額）

(百万円)	2022/12 上期実績	
	売上	営業利益
USD	68	16
RMB	1,092	262
EUR	32	軽微
CHF	103	軽微

2022/12 通期修正計画	
売上	営業利益
174	30
2,679	759
76	軽微
194	軽微

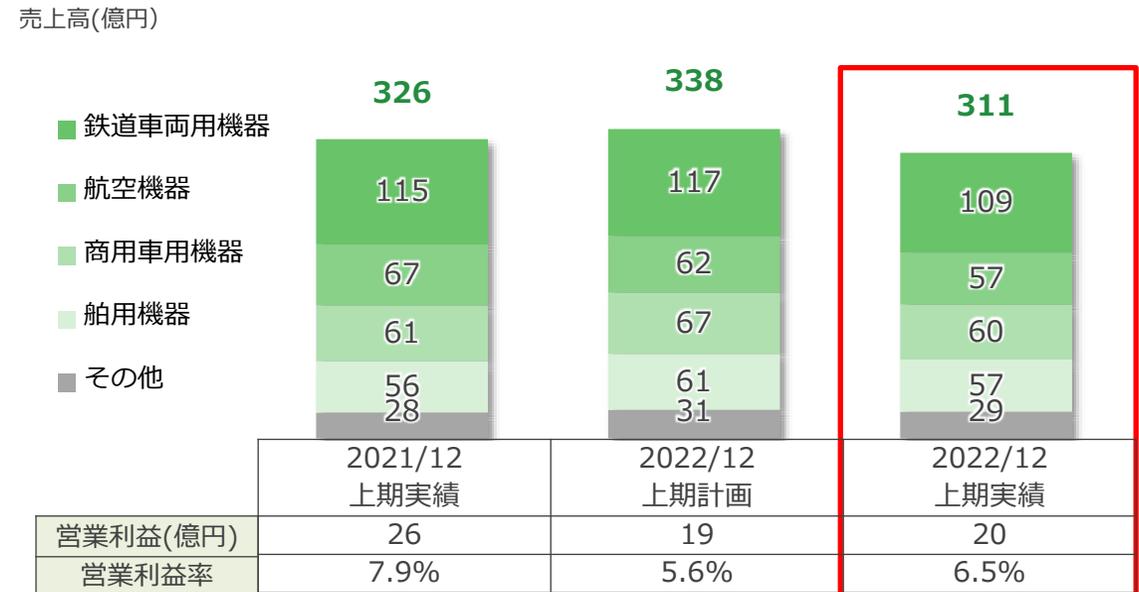
# 2022年12月期 上期実績詳細

## コンポーネントソリューションセグメント (CMP)



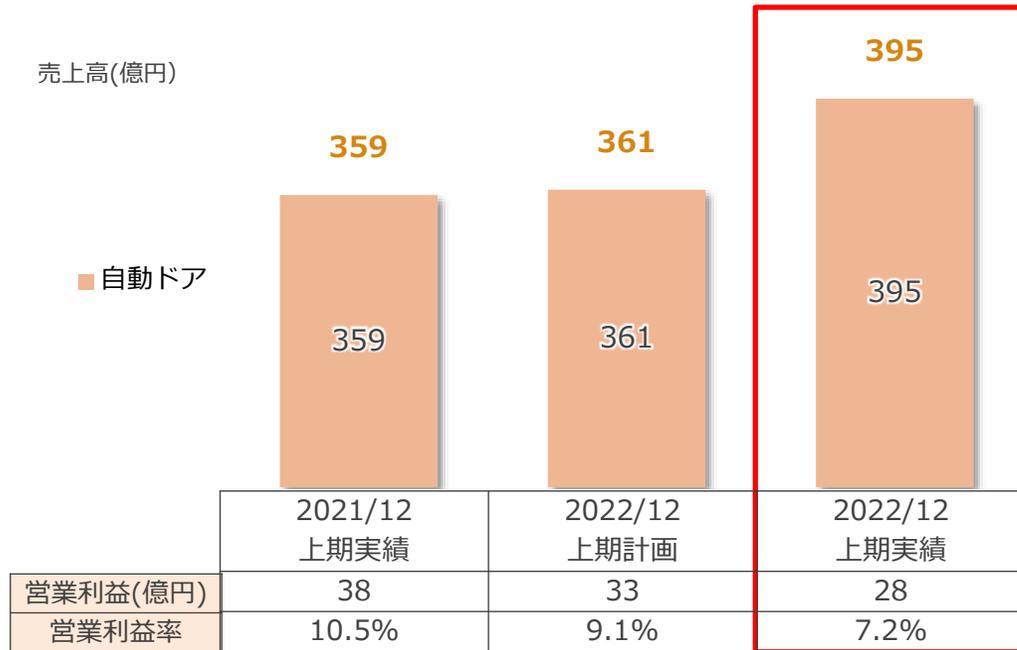
- 精密減速機事業：**  
 産業用ロボットや工作機械、半導体製造装置向けが好調であったことに加え、EV用リチウムイオン電池製造装置向けなどでも高い需要があったことから、売上高は前年同期比で増加
- 油圧機器事業：**  
 建設機械向け油圧機器は、中国市場において需要が大幅に減少したことに加え、上海ロックダウンにより当社上海工場の稼働が一時停止し、売上高は前年同期比で減少
- 営業利益：**  
 売上減少による減益および人件費、物流費等の増加により前年同期比で減益

## トランスポートソリューションセグメント (TRS)



- 鉄道車両用機器事業：**  
 MROは堅調に推移したものの、国内および海外市場で新車向け需要の減少傾向が継続し売上高は前年同期比で減少
- 航空機器事業：**  
 民間航空機向けでは需要は回復基調となったものの防衛省向けの調達品納入遅延等により売上高は前年同期比で減少
- 商用車用機器事業：**  
 顧客の生産調整による減産影響を受けたものの、東南アジア市場の回復で売上高は前年同期並み
- 船用機器事業：**  
 上海ロックダウンの影響があったものの造船・海運市場の高い需要により、売上高は前年同期並み
- 営業利益：**  
 売上減少による減益により前年同期比で減益

## アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)



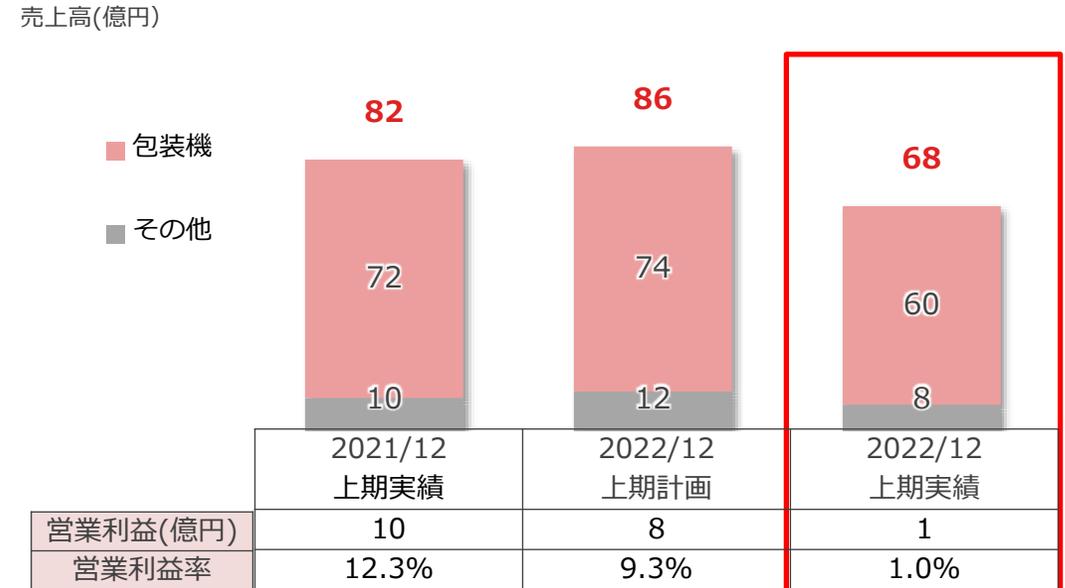
・自動ドア事業：

国内・海外ともに堅調に推移し、売上高は前年同期比で増加

・営業利益：

上期で欧州でのコロナによる移動制限の影響により、人件費の増加が発生。また製品構成差による収益性の低下により前年同期比で減益

## マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR)



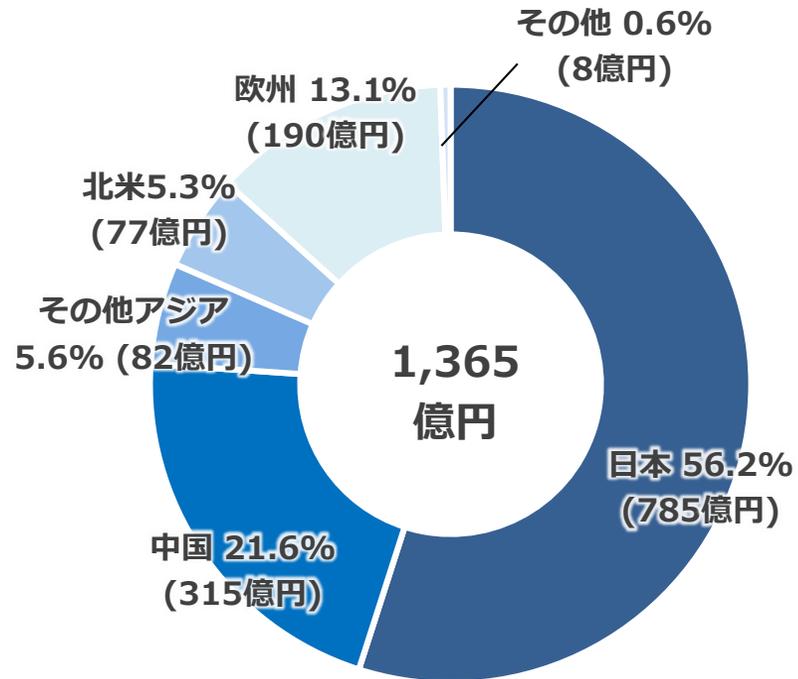
・包装機事業：

製品売上・MROともに電子部品等の調達品遅れが継続したことにより、売上高は前年同期比で減少

・営業利益：

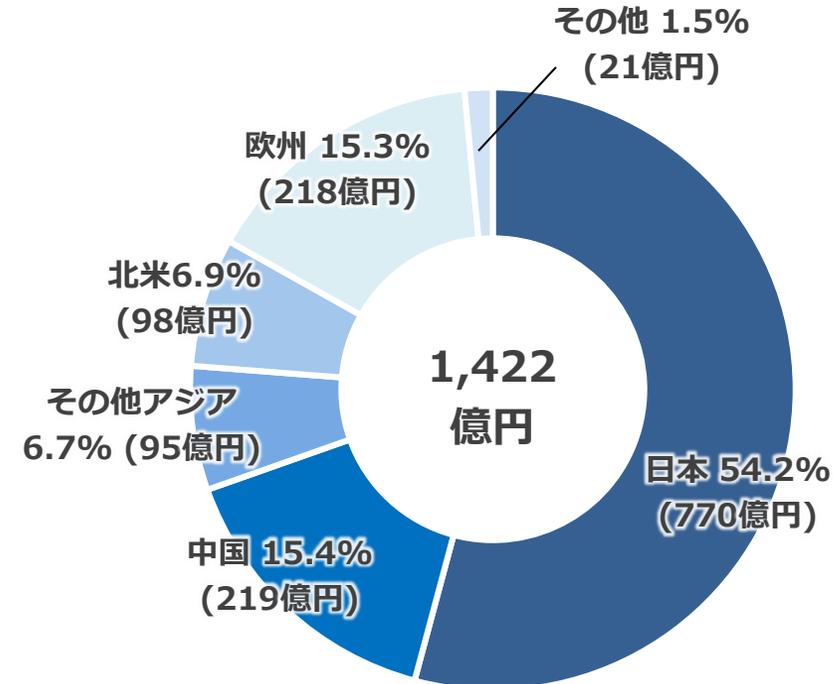
電子部品不足による生産遅延が発生し、売上が減少し、前年同期比で減益

## 2021/12 上期実績



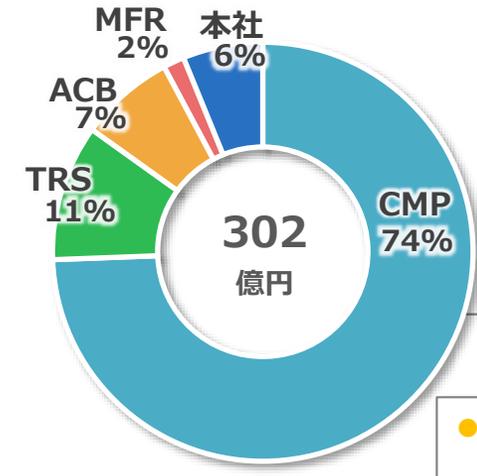
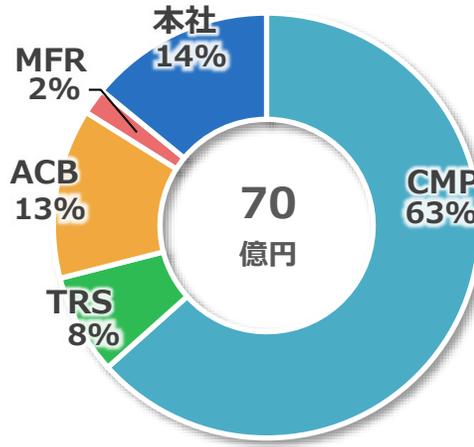
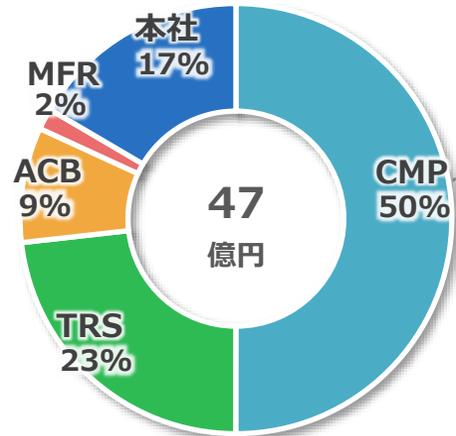
海外売上高	672億円
海外売上高比率	46.1%

## 2022/12 上期実績



海外売上高	652億円
海外売上高比率	45.8%

## セグメント別

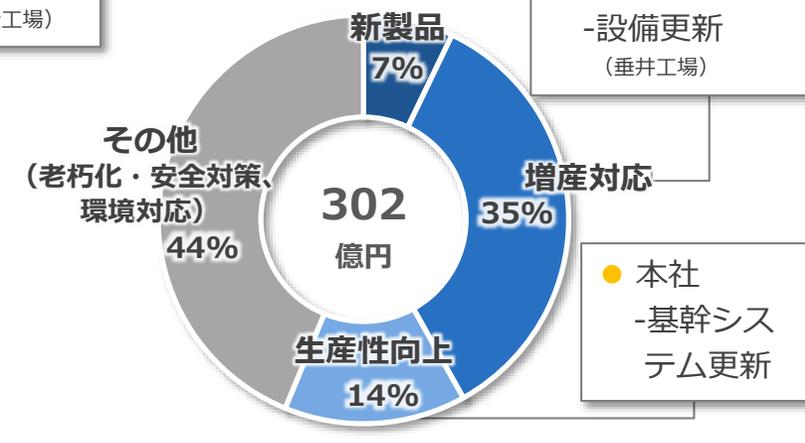
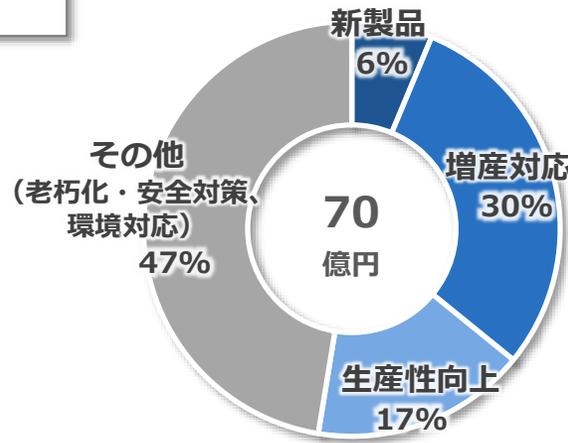
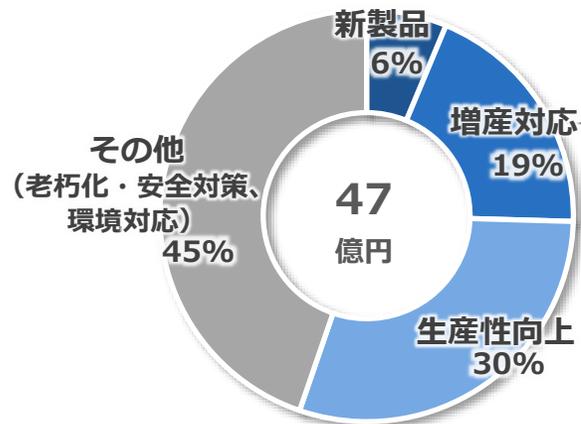


## 目的別

● 精密減速機  
-能力増強  
(津工場)

● 精密減速機  
-能力増強  
(津工場・浜松工場)

● 精密減速機  
-能力増強  
(津工場・浜松工場・中国工場)  
● 油圧機器  
-設備更新  
(垂井工場)



● 本社  
-基幹システム更新

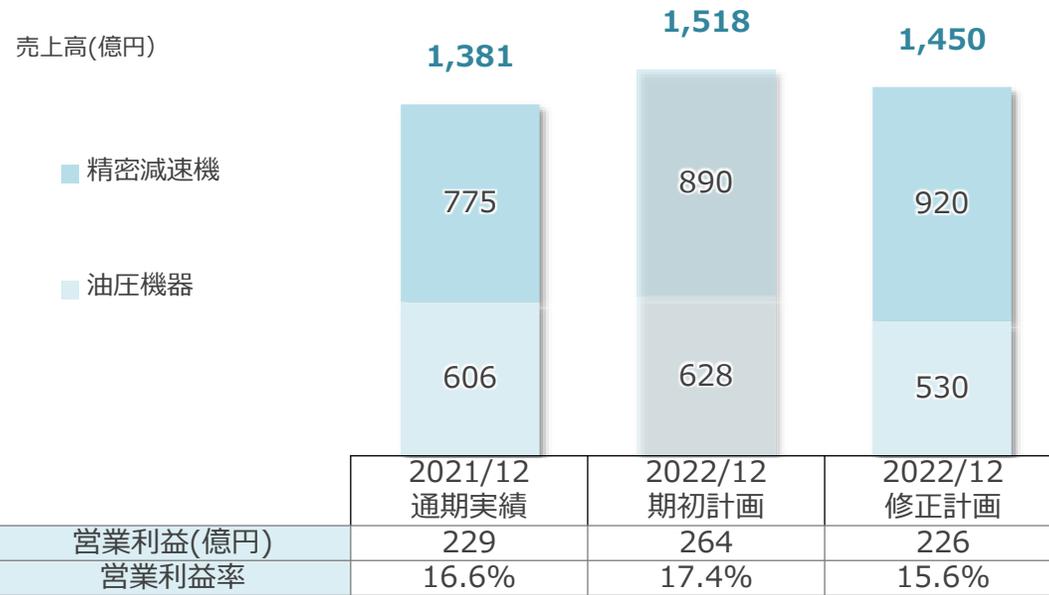
2021/12上期

2022/12上期

2022/12修正計画

# 2022年12月期 通期業績見通し詳細

## コンポーネントソリューションセグメント (CMP)



### CMP:期首計画を下方修正

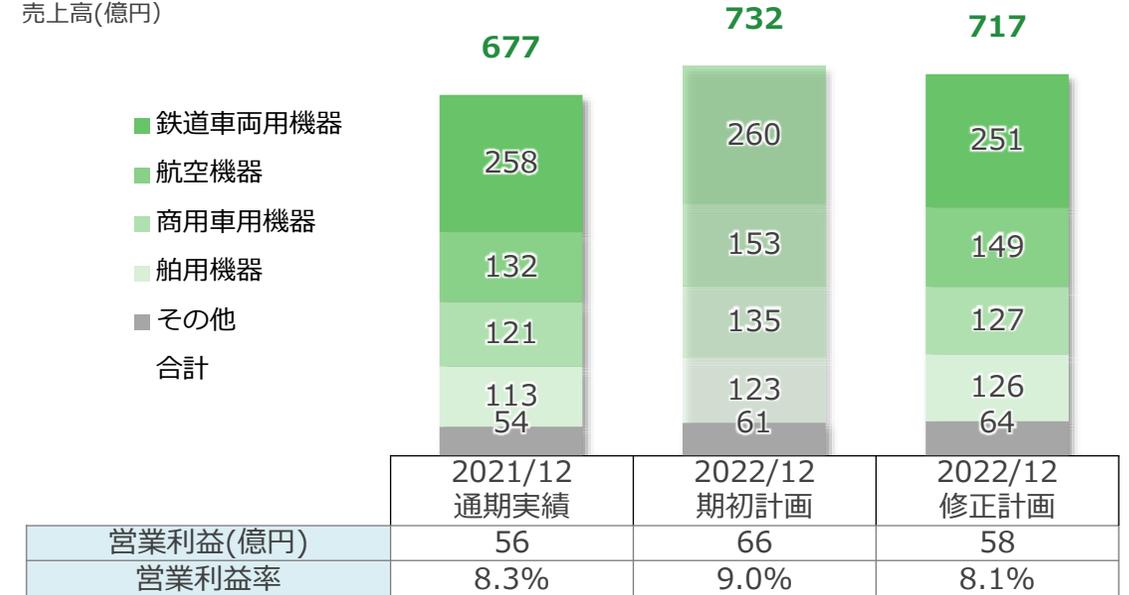
#### 【売上】

- 精密減速機事業：産業用ロボット向け、工作機械向け等需要の好調が継続し、計画比増収を見込む
- 油圧機器事業：中国市場での想定以上の需要減少に加え、上期に発生した上海ロックダウン影響による工場操業一時停止の影響を受け、計画比減収を見込む

#### 【営業利益】

- 上期は油圧機器の減収による減益。通期では原材料等の高騰を受け計画比で減益を見込む

## トランスポートソリューションセグメント (TRS)



### TRS : 期首計画を下方修正

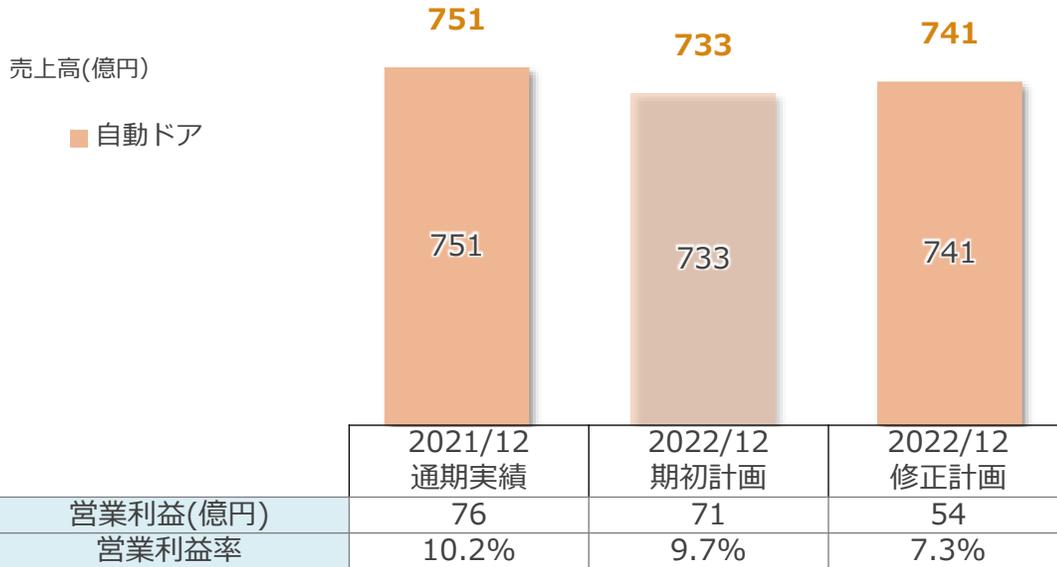
#### 【売上】

- 鉄道車両用機器事業：主に中国地下鉄向けの案件期ずれで計画比減収を見込む
- 航空機器/商用車用機器：顧客における品質問題および生産調整の長期化により計画比減収を見込む
- 船用機器事業：上期は上海ロックダウンの影響で工場操業が一時停止したが、好調な造船、海運市況もあり計画比増収を見込む

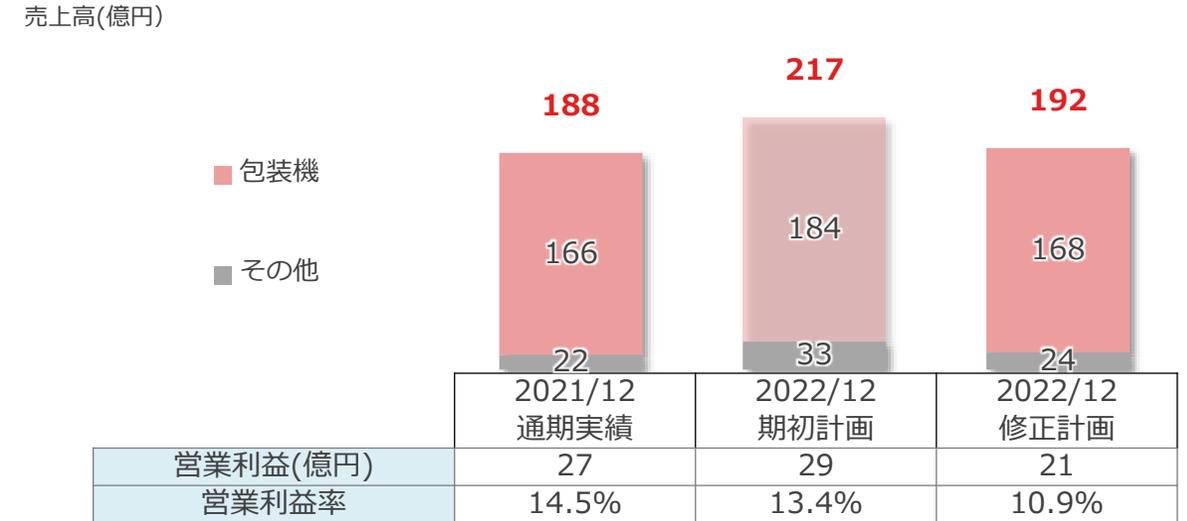
#### 【営業利益】

- 主に減収による減益

## アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)



## マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR)



### ACB : 期首計画を上方修正

#### 【売上】

- 為替による増収効果があることに加え、国内外でプラットホームドアの売上が好調を維持する見通し  
建物用ドアは23年、24年に首都圏の再開発案件のビル竣工までの間需要の端境期にあるが、中小案件やMRO需要を取込み堅調に推移する見通し

#### 【営業利益】

- 製品構成差や上期に欧州で発生した移動制限による人件費増加の影響を受け前年比で減益を見込む

### MFR : 期首計画を下方修正

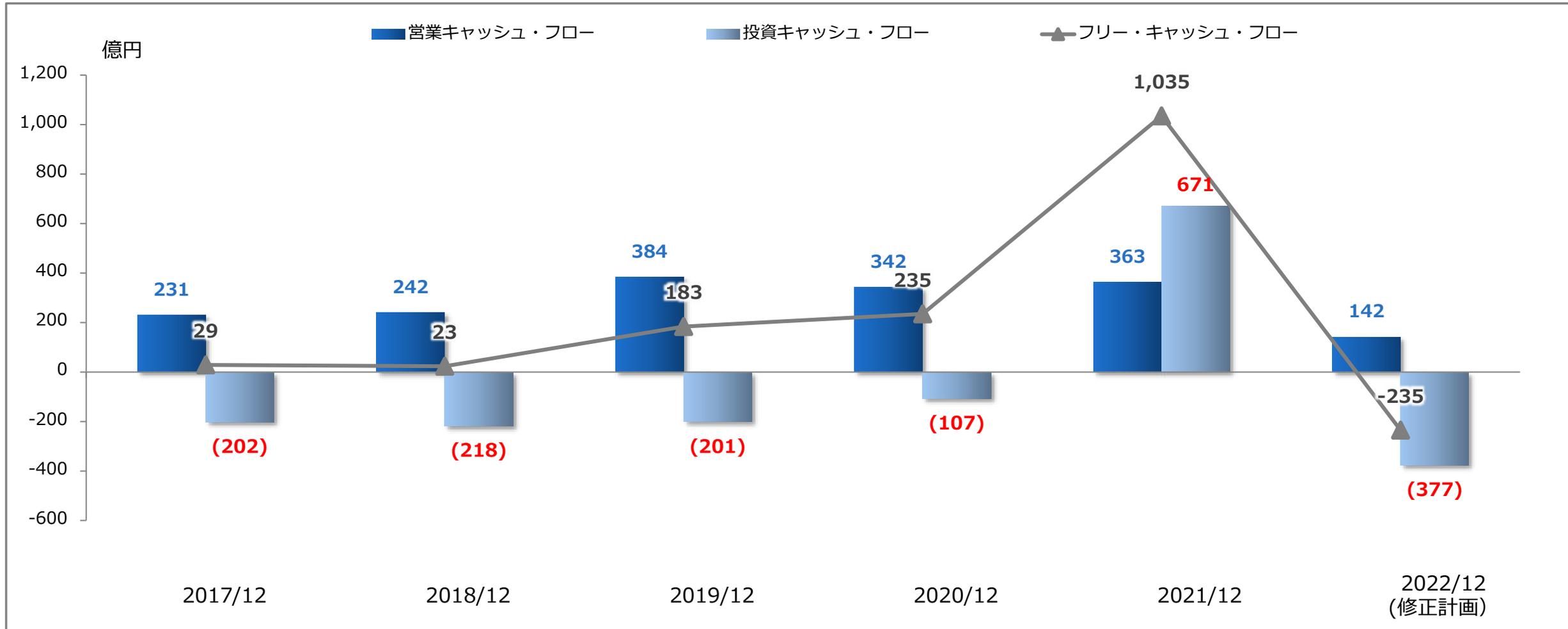
#### 【売上】

- 個食化、省人化の市場要求を取込み需要環境は堅調も、電子部品不足の影響により上期では売上が遅滞した。下期では設計変更やサプライヤー探索の成果で売上を確保する見通し

#### 【営業利益】

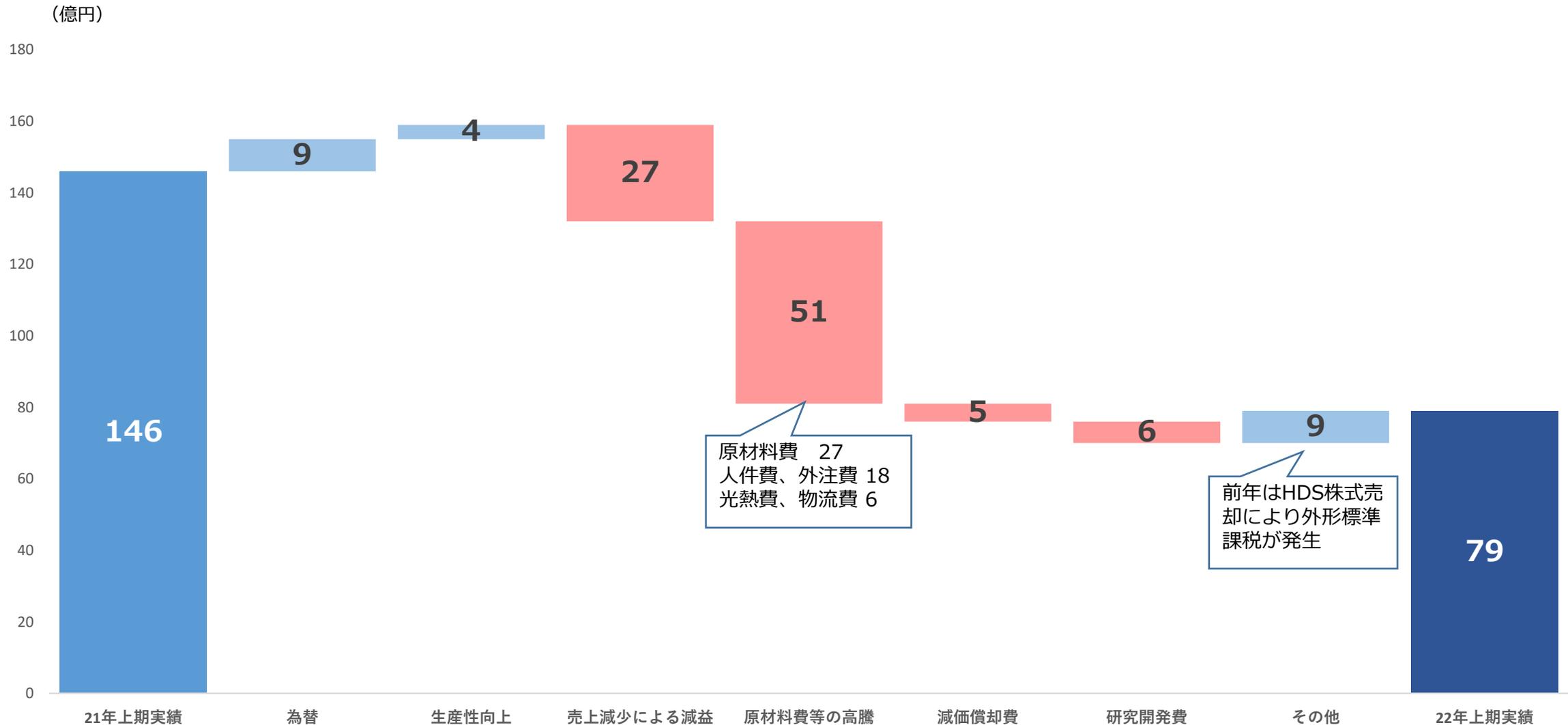
- 減収による減益に加え、電子部品調達によるコスト増加、電子部品不足によるMRO進捗遅れもあり前年比で減益を見込む

■ 2022年12月期は、精密減速機の新工場建設による設備投資の増加とHDS\*<sup>1</sup>株式売却に関わる法人税の支払い増加、証券会社との売買代金の清算等により、マイナスのフリー・キャッシュ・フローを見込む



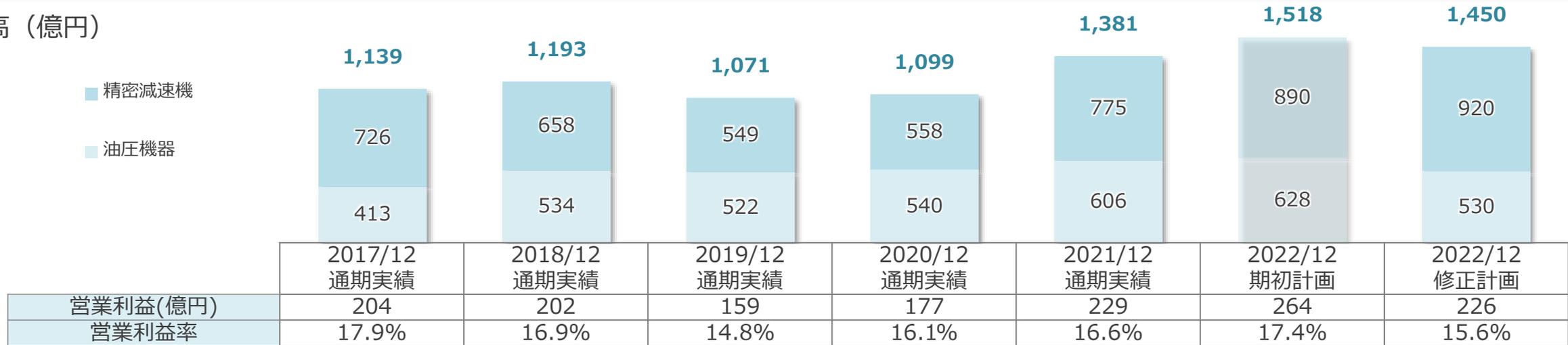
\*<sup>1</sup> HDS:株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ社

■ 2022年12月期上期実績は「売上減少」「原材料費等の高騰」の影響を受け、前年同期比で減益となった



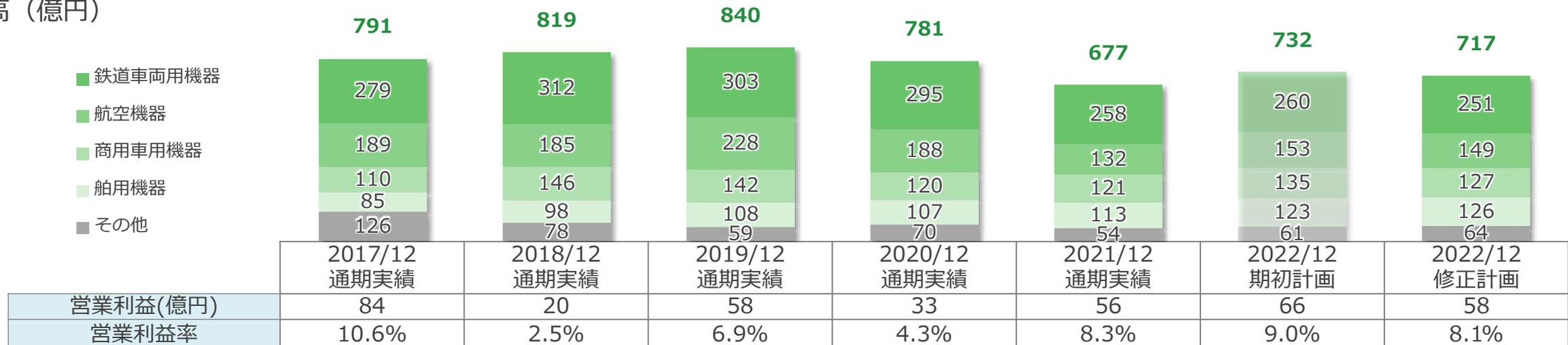
# 事業別売上推移・事業紹介

売上高 (億円)

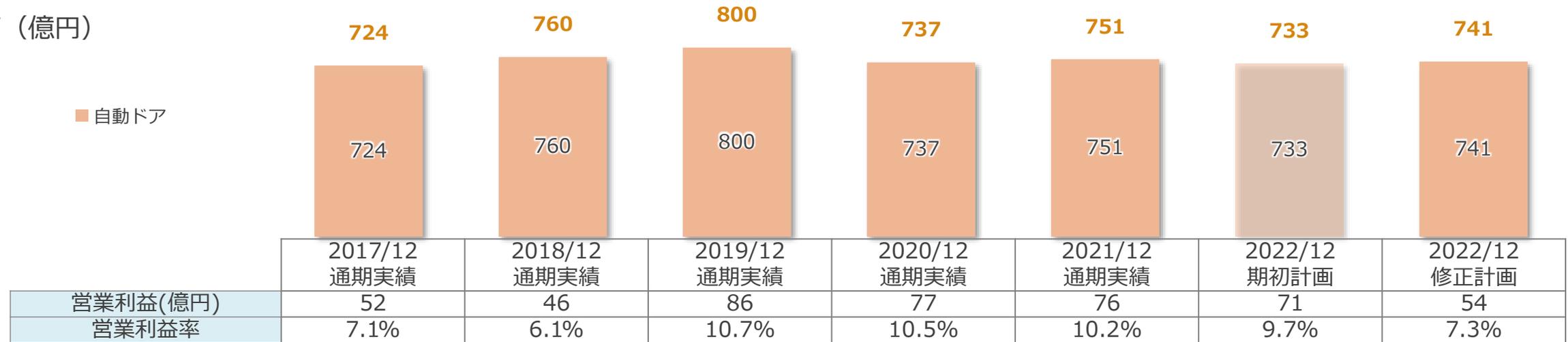


# トランスポートソリューションセグメント (TRS)

売上高 (億円)

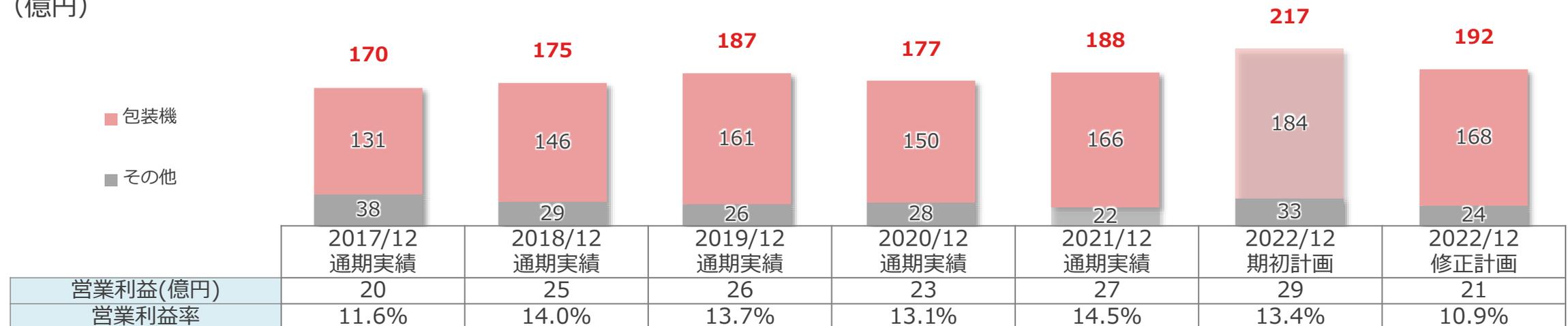


売上高 (億円)



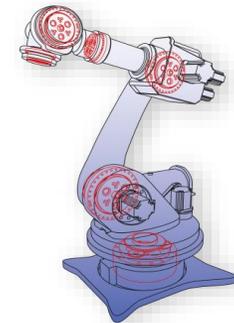
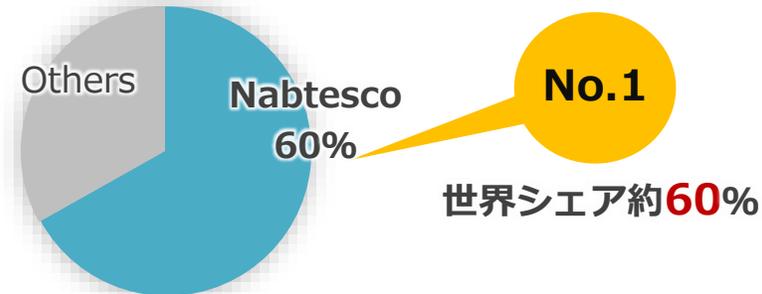
# マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR)

売上高 (億円)



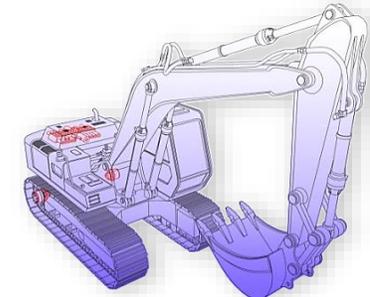
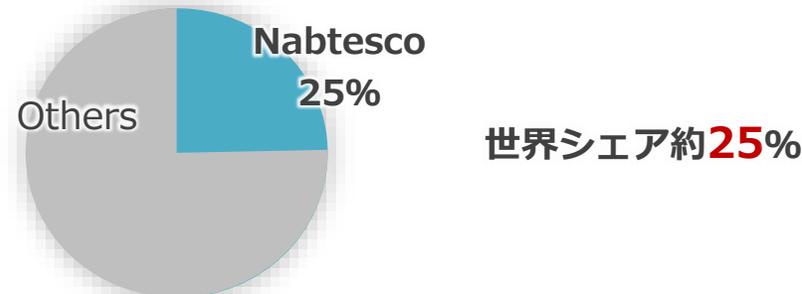
## 精密減速機

### ■ 中大型産業用ロボットの関節用途



## 油圧機器

### ■ 油圧ショベル用走行ユニット



## 主要顧客 (敬称略)

### ■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

### ■ 油圧機器

走行ユニット：コマツ、住友建機、コベルコ建機、Sany (中)、XCMG (中)、Liu Gong (中)

## 鉄道車両用機器

### ■ 鉄道車両用ブレーキシステム

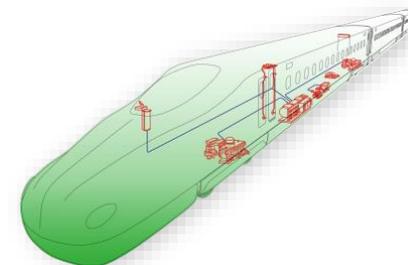


**No.1** 国内シェア約**50%**

### ■ 鉄道車両用ドア開閉装置



**No.1** 国内シェア約**60%**



## 航空機器

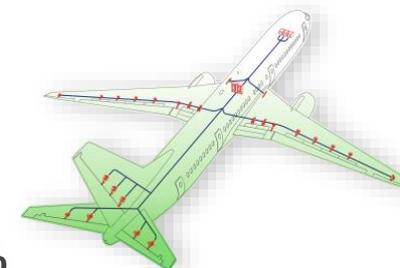
### ■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)

- FCAでは世界4強の1社(ボーイングの主要サプライヤー)
- エンジン補機、電源システム等へも事業展開



**No.1**

FCAの国産機  
シェア約**100%**



## 主要顧客 (敬称略)

### ■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

### ■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

## 商用車用機器

### ■ 商用車用ウェッジチャンバー

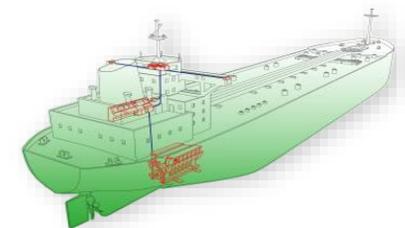


### ■ 商用車用エアドライヤー



## 船用機器

### ■ 船用エンジン遠隔制御システム



## 主要顧客 (敬称略)

### ■ 商用車用機器

日野自動車、いすゞ自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

### ■ 船用機器

川崎重工業、(株)日立造船、マキタ、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、三井E&Sマシナリー、Hyundai Heavy Industries (韓)、HSD Engine Co., Ltd.(韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、MAN Diesel (デンマーク)

## 自動ドア

### ■自動ドア開閉装置



### ■プラットホームスクリーンドア



## 主要顧客 (敬称略)

**各種建物用自動ドア**：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関  
**プラットホームドア**：フランス地下鉄、中国地下鉄、他

# マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR) 主要製品

## 包装機

### ■レトルト食品用充填包装機



## 主要顧客 (敬称略)

### ■包装機

三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

うごかす、とめる。

# Nabtesco

